



### ○学びの多様化学校に行ってきました

10月26日(木)、27日(金)に釜石地区教育長協議会で、宮城県の富谷市立富谷中学校西成田教室と白石市立白石きぼう学園へ視察に行ってきました。

それぞれの地域の実情に合った、特色ある学校づくりをしていました。

富谷市立富谷中学校西成田教室 (中学生対象)	白石市立白石きぼう学園(小中一貫教育校)
<p>○開校より1年半、常駐職員5名</p> <p>○登下校はS B、遅刻、早退は保護者が送迎で親の協力が得られることが就学の条件</p> <p>○生徒に合っているかが大事で、保護者と話し合い、見極める。</p> <p>○欠席、遅刻、早退に罪悪感を持たせない。(自分で判断することで、自分でコントロールする力をつける)</p> <p>○生徒に負担をかけない。(みんなの前での自己紹介、係活動、校則、行事、担任等はなし)</p> <p>○通常の学校に近い形にしている。(・別室は行わない ・時数は年間1050時間)</p> <p>○職員の打ち合わせの時間を十分にとっている。</p> <p>○評価は文章(数値を望む場合は数値だが通信簿は勉強したことについて、要録は学年に合わせて評価。よって整合性がとれない場合あり)</p> <p>○総合的な学習を大切にしている。地元のNPOと連携(まき割り、養蜂、竹切り、畑作等)</p>	<p>○今年度4月開校、準備期間は1年。(児童生徒のために少しでも早く開校させたかった)</p> <p>○校長、副校長2名、教員9名、養教、主事、支援員4名、SC1名</p> <p>○不登校児童○生徒を特別扱いしない。(普通の児童○生徒がたまたま不登校になっただけ。)</p> <p>○児童生徒が足を向けたくなる学校づくり (・学び直しの時間 ・授業中クールダウン可 ・学校行事は児童生徒の主体性 ・始業9:20～ ・校旗、校章、校歌、制服、定期テストなし ・標準時数より14%減)</p> <p>○体験活動の機会の確保(・人との関わりを重視 ・児童生徒からの提案を教師がねらいをもって具現化 ・今後、自分ができたことを発表する機会を設定)</p> <p>○教職員の研修、打ち合わせに時間をかける。 (先生が生き生きすれば、児童生徒も生き生きする。)</p> <p>○全国の一般企業からの継続的な支援。</p>
	

どちらの学校にも共通していること

- ① 体験活動を大切にしている。
- ② 保護者と協働して支援している。
- ③ 子供たちのペースで学習支援をしている。
- ④ 教員の打ち合わせ時間をしっかり確保している。

大槌町でも、少人数のふるさと科、「けやき体験学習」がスタートしたね。今度は、パン作り体験だよ。

